



2018年
4月11日
No.A17-12

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2018年3月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップミーティング

・3月15日(木)、渡辺博史・公益財団法人国際通貨研究所 理事長「最近の世界経済の動向ーマクロ経済・金融を中心に」(於：ホテルオークラ)。



<要旨>

昨年の世界経済の動向や今後の見通しについて、アメリカやヨーロッパが抱える政治や社会の問題、北朝鮮や中国をめぐる国際情勢などに触れながら包括的に話された。

(2) 講演会

3月7日(水)、ワリード・シヤム在京パレスチナ常駐総代表部代表(大使)「The Palestinian strategy for a new peace mechanism」(於：日本記者クラブ)。



<要旨>

トランプ大統領がエルサレムへのイスラエル大使館の移転を決定したことに、今後、PLOがどのように対応するかについて、基本方針などを説明された(講演会はオフレコで行われた)。

(3) その他の活動

i) 3月28日(水)、「中東大使を囲む会」を開催した。本会は中東各国に駐在する日本国大使、臨時代理大使、及び中東調査会会員・非会員との意見交換を目的とする。およそ150名が参加した(於：ザ・プリンスパークタワー東京 地下2階「コンベンションホールE」)。



佐々木幹夫会長が歓迎の挨拶を行った。



中東大使を代表して上村司・駐サウジアラビア大使が挨拶をされた。



1) 中東駐在大使、臨時代理大使



齋木昭隆理事長が乾杯の発声を行った。



2) 中東駐在大使、臨時代理大使

ii) 3月30日(金)、中東3大使の座談会を行った。



座談会には上村司・駐サウジアラビア大使、小林弘裕・駐イラン大使、富田浩司・駐イスラエル大使、松尾博文・日本経済新聞編集委員兼論説委員、当調査会の齋木昭隆理事長が参加した。詳細は2018年4月3日(火)付日本経済新聞の6面「複眼」、「オピニオン」に掲載された。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行(会員限定)

・2018年3月号(2018年4月1日)

1. エジプト：シーシー大統領の再選が確定
2. トルコ：北大西洋条約機構(NATO)との関係悪化
3. パレスチナ：悪化する米国との関係
4. レバノン：レバノン支援のためのローマ会合開催

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東かわら版の発行

・No.173「シリア：安保理決議2401号と最近の軍事情勢」(高岡上席研究員、3月1日)

・No.174「アメリカ：「イスラーム国」は進

化している？」(イスラーム過激派モニター班、3月5日)

・No.175「「イスラーム国」の生態：「イスラーム国」の妻子たち#2」(イスラーム過激派モニター班、3月13日)

・No.176「パレスチナ：パレスチナ自治政府のハマダッラー首相の車列への爆弾テロ」(中島主席研究員、3月14日)

・No.177「イスラーム過激派：フランスでの襲撃事件」(イスラーム過激派モニター班、3月26日)

3. その他

(1) 要人往来

・3月9日(金)、アイマン・サファディ・ヨルダン・ハシェミット王国外務・移民大臣が安倍晋三内閣総理大臣を表敬した。「平和と繁栄の回廊」構想の推進、北朝鮮問題が議題となった。

・3月12日(月)、世耕弘成経済産業大臣及び佐藤正久外務副大臣は、経済産業省において、訪日中のニハット・ゼイベキジ・トルコ経済大臣と、第3回日・トルコ貿易・投資閣僚会合(TRINS)を開催した。EPA交渉の進展による貿易・投資の拡大などが議題となった。

・3月21日(水)から3月27日(火)まで、イスラエルのツァヒ・ハネグビ域協力大臣が訪日した。河野太郎外務大臣と二国間関係の強化、また「平和と繁栄の回廊」など中東和平問題につき意見交換した。